

令和7年度 矢向地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

【現状】

矢向地域ケアプラザの担当エリアは、坂道がほとんど無い平坦な地形ですが、地域の中央には横須賀線、東側には南武線や貨物専用の線路が走っていることから、踏切りが10か所と非常に多いことが特徴です。矢向1丁目や江ヶ崎町は、近年、工場跡地等に大型マンションの建設が相次ぎ、若い世代の人口が増えています。

【今後の方向性】

若い世代の人口が増加したことから、新旧住民が交流する機会を作ることや、子育て世代を支援するネットワーク作りが必要です。また、高齢者等は、地域に線路や踏切りが多いことから、徒歩や自転車での移動が困難になると、行動範囲が狭くなり閉じこもりがちとなってしまいます。身近な地域での居場所づくりを進めるとともに、ケアプラザから地域へ出向く出張講座や相談支援を行う機会を設けていくことが必要です。

☐ 今年度の重点的な取組

新規  
継続

—具体的な取組内容—

■ ☐ 子育て・障害・高齢者それぞれのニーズに合わせた事業展開を行います。

☐ ■ 身近な地域での居場所づくりを支援します。

☐ ■ 地域の方と共に認知症についての正しい知識をひろめ、理解者が増えるよう講座を実施します。

☐ ■ 地域の高齢者の活動状況の把握に努め、様々な所で介護予防の普及を行います。

☐ ■ 地域住民と専門職が地域の課題を共有し、顔の見える関係づくりと連携を強化します。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント

# 令和7年度矢向地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	<p>(1) フォーマル、インフォーマル問わず事業所の種類ごとにファイルを作成し、来館者が自由に閲覧できるようにします。</p> <p>(2) ご相談のお客様には、上記ファイルに加え、ハートページ等の資料を用いて事業所についての情報提供、説明を行います。</p> <p>(3) 事業所選択時には「事業所の選択に関する説明についての確認書」を記入し、お客様の選択理由について明記します。</p> <p>(4) 地域包括支援センターからケアマネジャーへの新規依頼は「居宅介護支援事業所 新規依頼表」を作成し、エリア内外の事業所に偏りの無いように依頼します。</p>	<p>《事故防止》</p> <p>(1) 事故発生時はマニュアルに基づいて対応し、法人本部、鶴見区、横浜市への報告を行います。</p> <p>(2) 事故やヒヤリハットは、迅速に報告書を作成し状況分析、原因究明を行います。発生時に対応した職員が報告書を作成することで、危機管理意識を高め、再発防止に努めます。</p> <p>(3) 事業所内で報告書を回覧するとともに、事例は会議で共有します。また必要に応じて、事例に基づいた研修を行い、再発防止や緊急時の対応力向上に努めます。</p> <p>《個人情報保護》</p> <p>(1) 当法人では「個人情報保護規程」を定め、各ケアプラザごとに個人情報の管理に関する責任者と担当者を決め、管理体制と責任を明確にしています。</p> <p>(2) 法人で実施する「個人情報保護・情報セキュリティ研修」を担当職員が受講し、全職員への伝達研修を毎年実施します。</p> <p>(3) 毎日実施する朝のミーティング時に個人情報の取り扱いについて注意喚起を行います。</p> <p>(4) 個人情報を含む書類を郵送、またはFAXで送る際にはチェックシートを用い、複数の職員でダブルチェックを行います。</p> <p>(5) 相談票、個人ファイル等は施錠できるロッカー等で保管し、業務上持ち出しが必要な場合には最小限の情報のみとし、出張命令簿にその旨を記載します。</p>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>《目標》</p> <p>(1)ケアプラン作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が継続して住み慣れた地域で在宅生活が送れるよう、また、ご本人らしく自立した日常生活を営むことができることを目指します。</p> <p>(2)適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、様々な事業者から、総合的に効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、ケアプランを作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行います。</p> <p>(3)事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。</p>	<p>《目標》</p> <p>(1)ケアプラン作成にあたっては、お客様の心身の状況、その置かれている環境に応じて、お客様が継続して住み慣れた地域で生活が送れるよう、また、ご本人らしく自立した日常生活を営むことができることを目指します。</p> <p>(2)適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、総合的・効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、お客様に複数の事業所を提示し選択していただいて、ケアプランを作成するとともにサービス事業所等との連絡調整を行います。</p> <p>(3)事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等フォーマル、インフォーマル多方面との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。</p> <p>(4)緊急時、24時間連絡が可能な体制を確保しています。</p> <p>(5)多死社会におけるケアマネジメントプロセスを学ぶためにターミナルケースや難病ケース等アセスメントの視点やケアプラン研修を受講しスキルアップをめざします。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】</p> <p>指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】</p> <p>指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p>
	<p>【その他料金】</p> <p>なし</p>	<p>【その他料金】</p> <p>交通費:事業所の通常の事業の実施地域を越えた所から公共交通機関を利用した実費</p>
職員体制	<p>《職員体制》</p> <p>管理者 1名(常勤兼務)</p> <p>保健師 1名(常勤兼務)</p> <p>社会福祉士 1名(常勤専従)</p> <p>主任ケアマネジャー 1名(常勤専従)</p>	<p>《職員体制》</p> <p>介護支援専門員 1名(常勤兼務) 2名(常勤専従)</p>
契約者数		

### 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	<p>(1)お客様が継続して住み慣れた地域で在宅生活が送れるように、又ご家族の介護負担軽減を図るために、お客様お一人おひとりの心身の特性を踏まえて入浴、食事、排泄などの介護を行います。また、レクリエーションや機能訓練等を通して心身の活性や現在の機能の維持向上を図り、ご本人らしく自立した日常生活が過ごせるように支援します。</p> <p>(2)お客様の意思を尊重し、関係機関との連携を図り、お客様の心身の特性や持てる力に応じて通所介護計画書を作成します。</p> <p>(3)第1号通所介護・通所介護計画書を基に、要介護状態の軽減や悪化の防止に配慮して通所介護サービスを提供します。</p> <p>(4)お客様が「笑顔で、通い続けたい」と思えるデイサービスを目指せるサービスの提供ができるよう、職員の資質向上を図り研修や業務体制を整備していきます。</p>	<p>(1)認知症状態にあるお客様が可能な限り、住み慣れた地域で在宅生活が送れるように、ご家族などの身体的及び精神的負担の軽減を図るために、お客様お一人おひとりの心身の特性を踏まえて、入浴、食事、排泄などの介護を行います。また、レクリエーションや交流、機能訓練を通して、心身の活性や現在の機能の維持向上を図り、ご本人らしく自立した日常生活が過ごせるように支援します。</p> <p>(2)お客様の意思や人格を尊重し、関係機関との連携を図り、お客様の心身の特性や持てる力に応じて認知症対応型通所介護計画書を作成します。</p> <p>(3)認知症対応型通所介護計画書を基に、要介護状態の軽減や悪化の防止に配慮して、現在の機能が維持できるよう、認知症対応型通所介護サービスを提供します。</p> <p>(4)お客様にとって、現在の機能を維持し、「ご自分らしく楽しく過ごせ、意義あるデイサービス」という目標通りのサービスを提供できるよう、職員の資質向上を図るための研修や業務体制を整備していきます。</p>	
実施体制	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:45～16:50</p> <p>【定員】 36名</p>	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:45～16:50</p> <p>【定員】 12名</p>	
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額</p>	
	<p>【その他料金】 昼食代: 750円</p>	<p>【その他料金】 昼食代: 750円</p>	

職員 体制	管理者 1名(常勤兼務1名) 生活相談員 5名(常勤兼務5名) 看護職員 11名(非常勤兼務11名) 機能訓練指導員 11名(非常勤11名) 介護職員 27名 (常勤5名非常勤兼務22名) 調理員 3名(非常勤3名) ドライバー 7名(非常勤7名)	管理者 1名(常勤兼務1名) 生活相談員 5名(常勤兼務5名) 看護職員 11名(非常勤兼務11名) 機能訓練指導員 11名(非常勤11名) 介護職員 27名 (常勤5名非常勤兼務22名) 調理員 3名(非常勤3名) ドライバー 7名(非常勤7名)	
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	

令和7年度「矢向地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料</b>	<b>19,029,185</b>	<b>0</b>	<b>19,029,185</b>	<b>0</b>	<b>19,029,185</b>	横浜市より
内 受領額	19,029,185		19,029,185		19,029,185	
戻入額					0	
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）</b>			<b>0</b>		<b>0</b>	
<b>雑入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
内 印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
<b>その他</b>	<b>3,986,500</b>		<b>3,986,500</b>		<b>3,986,500</b>	施設利用料相当額控除、利用料金収支の活用
<b>収入合計</b>	<b>23,015,685</b>	<b>0</b>	<b>23,015,685</b>	<b>0</b>	<b>23,015,685</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>13,623,184</b>	<b>0</b>	<b>13,623,184</b>	<b>0</b>	<b>13,623,184</b>	
内 本俸	10,222,000		10,222,000		10,222,000	俸給
社会保険料	1,040,529		1,040,529		1,040,529	社会保険料
手当計	1,776,983		1,776,983		1,776,983	諸手当・通勤費
健康診断費	26,674		26,674		26,674	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	7,500		7,500		7,500	ハママふれんど
退職給付引当金繰入額	295,751		295,751		295,751	退職共済掛金
その他	253,747		253,747		253,747	法定福利費(労保・責保)・ストレスチェック・インフルエンザ補助
<b>事務費</b>	<b>1,130,000</b>	<b>0</b>	<b>1,130,000</b>	<b>0</b>	<b>1,130,000</b>	
旅費	21,000		21,000		21,000	出張旅費
消耗品費	160,365		160,365		160,365	保健衛生費・事務消耗品費
会議随い費	18,000		18,000		18,000	運営協議会経費
印刷製本費	66,000		66,000		66,000	コピー・カウント料等
通信費	283,566		283,566		283,566	固定電話・公衆電話・パソコン・回線等
使用料及び賃借料	58,987	0	58,987	0	58,987	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120		21,120	自販機目的外使用料
その他	37,867		37,867		37,867	玄関マット・空気清浄機レンタル代
備品購入費	0		0		0	なし
図書購入費	0		0		0	なし
施設賠償責任保険	19,090		19,090		19,090	保険料
職員等研修費	4,450		4,450		4,450	研修費・研修交通費
振込手数料	38,310		38,310		38,310	振込手数料
リース料	351,854		351,854		351,854	PCリース料・SWING会計ソフトリース料・ADサーバーリース料等
手数料	1,045		1,045		1,045	残高証明書発行手数料
地域協力費	9,750		9,750		9,750	諸会費
公租公課	1,327	0	1,327	0	1,327	
内 事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	1,327		1,327		1,327	
その他	0		0		0	
その他	96,256		96,256		96,256	カソリ代・産業医謝金・給与計算委託・システム保守・車両保険・レンタル料等
<b>事業費</b>	<b>2,010,000</b>	<b>0</b>	<b>2,010,000</b>	<b>0</b>	<b>2,010,000</b>	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,010,000		2,010,000		2,010,000	
その他	0		0		0	
<b>管理費</b>	<b>5,778,501</b>	<b>0</b>	<b>5,778,501</b>	<b>0</b>	<b>5,778,501</b>	
内 光熱水費	3,810,875		3,810,875		3,810,875	
清掃費	1,311,008		1,311,008		1,311,008	
機械警備費	63,069		63,069		63,069	
設備保全費	593,549	0	593,549	0	593,549	
内 空調衛生設備保守	280,305		280,305		280,305	
消防設備保守	72,705		72,705		72,705	
電気設備保守	70,427		70,427		70,427	
害虫駆除清掃保守	9,111		9,111		9,111	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	161,001		161,001		161,001	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
<b>修繕費</b>	<b>474,000</b>		<b>474,000</b>		<b>474,000</b>	予算・指定額
太陽光パネル保守点検	0		0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
<b>その他</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
内	0		0		0	
<b>支出合計</b>	<b>23,015,685</b>	<b>0</b>	<b>23,015,685</b>	<b>0</b>	<b>23,015,685</b>	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	2,010,000	0	2,010,000	0	2,010,000	
自主事業 収支	△ 2,010,000	0	△ 2,010,000	0	△ 2,010,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	0	△ 21,120	

※各次項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度「矢向地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,729,722	0	25,729,722	0	25,729,722	横浜市より
内 受領額	25,729,722		25,729,722		25,729,722	
戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,150,623	0	6,150,623	0	6,150,623	横浜市より
内 受領額	6,150,623		6,150,623		6,150,623	
戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,355,500		1,355,500		1,355,500	利用料金収支の活用
収入合計	33,419,845	0	33,419,845	0	33,419,845	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,480,845	0	29,480,845	0	29,480,845	
内 本俸	16,454,551		16,454,551		16,454,551	俸給
社会保険料	2,710,491		2,710,491		2,710,491	社会保険料
手当計	8,597,367		8,597,367		8,597,367	諸手当・通勤費
健康診断費	30,304		30,304		30,304	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	22,500		22,500		22,500	ハママふれんど
退職給付引当金繰入額	614,251		614,251		614,251	退職共済掛金
その他	1,051,381		1,051,381		1,051,381	法定福利費(労保・賞与・ストレスチェック・インフルエンザ)補助
事務費	480,720	0	480,720	0	480,720	
内 旅費	5,000		5,000		5,000	出張旅費
消耗品費	20,000		20,000		20,000	保健衛生費・事務消耗品費
会議贈い費	0		0		0	なし
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	コピー・カウンタ料等
通信費	130,000		130,000		130,000	固定電話・公衆電話・パソコンバンク回線等
使用料及び賃借料	30,000	0	30,000	0	30,000	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	なし
戻 入	30,000		30,000		30,000	玄関マット・空気清浄機レンタル代
備品購入費	0		0		0	なし
図書購入費	0		0		0	なし
施設賠償責任保険	19,090		19,090		19,090	保険料
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	研修費・研修交通費
振込手数料	5,000		5,000		5,000	振込手数料
リース料	110,720		110,720		110,720	PCリース料・SWING会計ソフトリース料・ADサーバーリース料等
手数料	1,045		1,045		1,045	残高証明書発行手数料
地域協力費	0		0		0	諸会費
公租公課	352	0	352	0	352	
内 事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
戻 入	352		352		352	
その他	0		0		0	
その他	136,513		136,513		136,513	
事業費	1,885,280	0	1,885,280	0	1,885,280	
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	750,000		750,000		750,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	321,280		321,280		321,280	
その他			0		0	
管理費	1,447,000	0	1,447,000	0	1,447,000	
内 光熱水費	943,368		943,368		943,368	
清掃費	329,091		329,091		329,091	
機械整備費	16,765		16,765		16,765	
設備保全費	157,776	0	157,776	0	157,776	
内 空調衛生設備保守	74,511		74,511		74,511	
消防設備保守	19,326		19,326		19,326	
電気設備保守	18,721		18,721		18,721	
害虫駆除清掃保守	2,421		2,421		2,421	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	42,797		42,797		42,797	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	33,419,845	0	33,419,845	0	33,419,845	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	1,255,280	0	1,255,280	0	1,255,280
自主事業 収支	△ 1,255,280	0	△ 1,255,280	0	△ 1,255,280

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名: 矢向地域ケアプラザ

令和7年4月1日～ 令和8年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	8,320		8,320	23,415		23,415	113,550		113,550	38,680		38,680
	その他	0	0	0	667	0	667	975	0	975	291	0	291
	受託事業収入 (追加配付額)			0			0	872		872	291		291
	認定調査収入			0	148		148	0		0	0		0
	原案作成委託料			0	519		519	0		0	0		0
	補助金			0			0	0		0	0		0
				0			0	0		0	0		0
	その他			0			0	103		103	0		0
	収入合計(A)	8,320	0	8,320	24,082	0	24,082	114,525	0	114,525	38,971	0	38,971
支出	人件費	0		0	18,002		18,002	91,871		91,871	25,997		25,997
	事務費	6,051		6,051	1,787		1,787	6,142		6,142	2,029		2,029
	事業費	0		0	33		33	7,851		7,851	2,495		2,495
	管理費	0		0	0		0	8,357		8,357	2,271		2,271
	その他	0	0	0	2,408	0	2,408	109	0	109	6,179	0	6,179
	利用者負担軽減額			0			0	107		107	0		0
	本部繰入金			0	2,408		2,408	0		0	6,179		6,179
				0			0	0		0	0		0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0	2		2	0		0
	支出合計(B)	6,051	0	6,051	22,230	0	22,230	114,330	0	114,330	38,971	0	38,971
収支 (A) - (B)		2,269	0	2,269	1,852	0	1,852	195	0	195	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者					
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）			2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）			1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施 回数	うち オンライ ン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライ ン 参加人数
1	とちのき手芸の会	平成13年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	閉じこもり予防 介護予防 仲間づくり 外出の機会増加 認知症予防 ボランティア活動の場の提供	1:高齢者		地域の方たちが気軽に集い、手芸等を通して仲間作りができるサロン 月1回、第2金曜日程				
2	リフレッシュ体操	平成13年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	閉じこもり予防 体力維持 気分転換 仲間づくり	1:高齢者		ストレッチ体操のあと、音楽に合わせて、楽しく身体を動かすことでのび のびとリラックスした気分になれる運動を行う。 月2回、第1・3水曜日程				
3	とっちーのヨガ	平成29年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	健康増進 介護予防 仲間づくり 情報交換 若い世代への働きかけ	5:地域		照明を落とし、アロマの香りが漂う落ち着いた空間でヨガをすることでリ ラックス、リフレッシュできる。3コースあり、各コース月2回開催 朝のヨガ：第1・3月曜日 木曜日のヨガ（夜間）：第2・4水曜日 金曜日のヨガ（夜間）：第1・3金曜日				
4	簡単エアロビクス♪	平成24年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	情報交換 仲間づくり 地域内の世代間交流 運動不足解消	5:地域		エアロビクスをして、ストレス・運動不足を解消する。エアロビクス初心 者、在宅ワークの方、運動不足の方、どなたでも大歓迎です。参加者 に合わせて楽しく運動する。 年4回程度開催				
5	とちのき子育てサロン	平成25年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	育児不安の解消 仲間作り 情報収集の場の提供 遊び場の提供 ボランティアの場の提供 関連諸団体とのネットワーク構築	3:養育者及 び乳幼児		育児中の親御さんたちが気軽に自由に入力できるサロンで子育て 応援団（保育士、主任児童委員等）に入ってもらい、一緒に遊ぶこ とでもらったり、相談に乗ってもらったりすることができる。 月1回、第4金曜日程				
6	昭和の寺子屋	平成31年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	閉じこもり予防 介護予防 仲間づくり	1:高齢者		クイズ、昭和カルタ、駄洒、漢字など、手先と脳を一緒に使う事で介護 予防に役立ちます。参加者で、昭和時代を回想し、楽しくお話をしながら 月2回開催				
7	ゆっくりゆっくり転ばん体操	平成23年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	介護予防 閉じこもり予防 仲間作り	1:高齢者		より転倒のリスクが高くなる70歳以上の高齢者を対象とし、股・か・う ・ん・す・た・ら・ん・ぐ等を行う。歩行が不安定な人でも参加できるよう、椅 子に座ったままでもゆったりとした体操が中心 月2回、第1・3水曜日程				
8	お楽しみ演芸館	平成19年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	閉じこもり予防 気分転換 仲間作り 情報収集 世代間交流 ボランティア活動の場提供	5:地域		新舞踊や音楽会の開催など、老若男女を問わず地域の多くの方々に 楽しんでいただける趣しを実施する。なかなか外出できない高齢者に 福祉の場を提供する。 年2回開催				
9	とちのきフェア	平成9年度	7:共催（1と 2と3）	1:優先的に 取り組み	地域住民同士との交流と情報の交換 地域ケアプラザおよび 矢向あいねっと活動の周知 地域のニーズ、意見、情報の収集	5:地域		ケアプラザを地域の方に知っていただき、身近な相談場所として認識 を持っていただくために毎年地区センターと合同で行っている文化祭で す。毎年「タイズラリー」を開催し、ラリーポイントを回ることにより矢向 あいねっとの周知および意見・ニーズ・情報の収集を行う。ケアプラザ を利用している団体の活動の場にもなっている。				
10	貸室利用団体交流会及び貸室 利用説明会	平成27年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	ケアプラザを利用されている貸室団体の代表に集 まって頂き、交流する。また、貸室のルールを再周知	7:その他		各団体の紹介及び貸室ルールの再確認を行い、団体間の交流及び ルールの周知徹底を図る。				
11	プラザギャラリー	平成12年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	登録団体の作品をプラザ内に掲示し、地域住民や館 内利用者に広く知らせる。	5:地域		登録団体の作品をプラザ内に掲示し、ケアプラザ利用者や地域住民に 鑑賞していただく。毎月開催				
12	福祉教育	平成18年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	地域の中学生・高校生等への福祉教育	4:子ども・青 少年		地域の中学生・高校生等の福祉に関する理解を深める。ケアプラザの デイズ・ビジネス等で学生ボランティア、職業体験等の受け入れを行う。開 始前には事前オリエンテーションを行い、ケアプラザや高齢者等への 理解を深める。				
13	よこはまシニアボランティアポ イント事業 ボランティア登録研 修会	平成28年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	地域のボランティアを始めたいという高齢者（65歳 以上）を対象に、よこはまシニアボランティアポイント事 業の登録研修会を行い、新規のボランティアを開拓 し、ボランティアの高齢化に備えて新たな担い手を育 成していく。	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイント事業のボランティア登録研修会を 開催し、ボランティアをしているが登録していない方の登録の徹底とす る。新たにボランティアをしたいという地域の高齢者にはよこはまシニア ボランティアポイント事業を周知し、新たな担い手を開拓・育成する。年 1回開催				
14	介護なんでも相談室	平成9年度	2:地域包括 支援セン ター運営事 業	1:優先的に 取り組み	介護者負担の軽減 虐待予防 情報交換 情報共有	5:地域		介護者が集まり、情報交換や気分転換ができることを目的とします。気 軽に参加できる会として毎月第3土曜日に固定し出入り自由とします。 介護に関するS・N講座や出張相談会等を実施します。				
15	備えて安心講座	平成19年度	2:地域包括 支援セン ター運営事 業	1:優先的に 取り組み	老後への備え 関係機関との連携	5:地域	1	元気なうちから自分の老後について考え、備えるきっかけとなるよう 「新高齢」や「詐欺対策」等の講座を企画し、年々2〜4回程度実施する。 講座の内容により、消費生活推進員や警察署、郵便局等の関係機関 と連携する。				

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者								
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）			2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）			1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他			2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 5：地域 6：事業者		
No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計					
									実施 回数	うち オンライ ン 実施回数	延べ 参加 人数	うち オンライ ン 参加人数		
16	矢向地区・障害理解講座	平成19年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	地域住民が障害者とその生活等についての理解を 深める。	5：地域		地域住民が障害者施設の見学や、利用されている方々の障害につい て学ぶ機会を持つための講座を実施し、地域の障害者への理解を深 める。						
17	江ヶ崎地区・障害理解講座	平成19年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	地域住民が障害者とその生活等についての理解を 深める。	5：地域		地域住民が障害者施設の見学や、利用されている方々の障害につい て学ぶ機会を持つための講座を実施し、地域の障害者への理解を深 める。						
18	ポッチャサロン	平成22年 度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	健康増進 介護予防 仲間づくり 情報交換の場	1：高齢者	5	保健活動推進員を中心に月1回開催。体力や身体機能の低下がある 方でも気軽に運動ができるよう、座ったままできる球技「ポッチャ」を取 り入れている。参加者同士が声を掛け合いながらゲームを進めること で、仲間づくりや情報交換の機会にもなっている。						
19	「鶴っこ」物品販売	平成12年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	障がい者理解 「鶴っこ」への販売協力	5：地域		鶴っこの製品を販売するショーケースを設置し、その販売に協力する。						
20	歌声喫茶ふるさと後方支援	平成26年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	閉じこもり予防 仲間作り 気分転換 世代間交流の場 ボランティア活動の場提供 健康増進	5：地域		毎月第1日曜日にケアプラザにて開催される「歌声喫茶ふるさと」の後 方支援をする。伴奏、司会、解説、コーリーのサービス、受付、設置な ど、すべて委員がボランティアで役割分担して進めている。参加者が増 えていることから、参加人数の調整などについて一瞬に検討し、スムー ズな運営ができるよう支援する。						
21	あいねっと	平成18年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	地域福祉の推進 見守り事業 地域への啓発 ネットワーク構築	5：地域		「矢向あいねっと推進委員会」「江ヶ崎・あいねっと推進協議会」に協力 し、地域福祉を推進する。 「矢向あいねっと」啓発のため、アロー通信を発行する。						
22	とちのきず後方支援	平成20年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	若い母親の育児不安解消 仲間作り 遊び場や情報収集の場の提供 子育てネットワーク構築	3：養育者及 び乳幼児		とちのきず（とちのき子育て支援会議）に協力し、毎月定例会、サロ ンおよびさまざまな催しを開催する。						
23	キッチンほのぼの後方支援	平成20年度	6：共催（2と 3）	1：優先的に 取り組み	配食サービス ボランティア育成 見守りネットワークの構築	1：高齢者		配食サービスのボランティア団体「キッチンほのぼ」の活動を後方支 援する。ケアプラザは事務局として、利用開始時の訪問や、食費の 管理等を行う。また、お中祭の配達を通して安否確認を行い、必要時 には包括が訪問し対応する。お弁当は1個450円。 毎月第2・4火曜日に実施している。						
24	矢向地区保健活動推進員のラ ジオ体操 後方支援	平成28年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	健康づくり 規則的な生活習慣 介護予防 閉じこもり予防 互いの見守り 世代間交流	1：高齢者		毎朝8時45分より、ケアプラザ敷地内でラジオ体操第1と第2を行う。平 成28年10月より自主化し、保健活動推進員を中心とした地域住民が主 体となり実施している。ラジオ体操の音はケアプラザで管絃し、卓球 や片付けを住民と一緒に行う。						
25	老人クラブ活動支援	平成29年度	3：生活支援 体制整備事 業	1：優先的に 取り組み	「役員の高齢化」や「担い手不足」が課題となってい る老人クラブの活動を活性化させ、地域における要 支援高齢者等の受け皿とする。	1：高齢者	5	これまで町内会館で毎月行われていた会長会「階段が大変」「腰に 座れない」等の理由により、ケアプラザで行うこととした。ケアプラザは オブザーバーとして会場に出発し、夜更通からの送迎準備を共有する ほか、運営情報提供している。また、前年度と同開催した「友愛活動の 励み会」も今年度も実施予定。単位クラブごとに取り組んでいる「居場 所」たまり場づくりの支援も行っている。						
26	史季の郷 運営委員会	平成29年度	5：共催（1と 3）	1：優先的に 取り組み	NPO法人としてメンバーが主体的かつ円滑に運営し ていけるよう支援する。	5：地域		毎月第3日曜日に行われている運営委員会に参加し、イベントの企画 等を一緒に進めている。平成29年4月にはNPO法人となったため、メン バーが主体的に運営し、より地域に親しまれる施設となるよう、必要に 応じて地域との調整等を支援していく。						
27	矢向地区・社協新聞後方支援	平成23年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	地域福祉の推進 地域への啓発 ネットワーク構築	5：地域		毎月第2土曜日に行われている社協新聞定例会に参加し、新聞作成を 一緒に進めている。矢向1〜8丁目から代表が1名ずつ参加している。 矢向地区で行われているイベント等を掲載し、地域に発信している。						
28	出前講座	令和5年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	情報発信	5：地域		窓口および電話等で寄せられる個別の相談のみでなく、地域活動交 流・地域包括支援センター生活支援体制整備事業が、地域の様々な 会議の場や団体活動等へ向うことで、あらゆる機会から潜在化して いるニーズを捉えるとともに必要な方に必要な情報を届ける。						
29	ボランティア情報交流会	令和5年度	1：地域活動 交流事業	1：優先的に 取り組み	ボランティア活動の普及啓発 ボランティア同士の交流 ケアプラザとボランティアのネットワーク構築	5：地域		コロナ禍で数年中止していたボランティア交流会・感謝祭の内容を変更 して実施します。ケアプラザのボランティア入りの見直しについてご 理解いただくとともに、ボランティア同士の交流を深める。						
30	川のまちエリア会議	平成26年度	7：共催（1と 2と3）	2：発展させ るねらい	エリア内の医療機関、サービス事業所、施設等が地 域包括ケアシステム構築を目指した多職種のネット ワークで、地域課題に沿った研修や取組を地域住民 対象に行う。	5：地域		会議を重ね、毎年講座やイベントを実施している。近年のテーマは特 殊詐欺対策講座、広報紙発行、シールラリー、人生会議、終の棲家 を考える、防災等多岐に渡る。						
31	認知症サポーター養成講座	平成30年度	7：共催（1と 2と3）	1：優先的に 取り組み	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認 知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けす る「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等に やさしい地域づくりに取り組む。	5：地域		チームオレンジの普及啓発も含め、認知症の方やそのご家族への理 解を深めるため、認知症サポーター養成講座を地域のキャパシティ・メ イトと共に実施する。						